

「高齢者の買い物支援を通じた地域コミュニティ再生事業」 (合同会社富岡さくらの郷(富岡町))

1 事業概要

原発事故で富岡町民が避難している大玉村の安達太良仮設住宅内で営業する仮設店舗「えびすこ市場」を拠点に、避難者向けの移動販売、宅配サービス、高齢者見守り訪問等を行う。

2 事業実施期間(実施日)

平成28年4月1日～平成29年3月31日

3 事業実施内容と効果

大玉村仮設店舗「えびすこ市場」の運営、郡山市内の仮設住宅へ週1回の移動販売、富岡町や大玉村のイベントに参画しながら、高齢者の買い物支援や地域コミュニティ構築の支援を行いました。

外出困難な方や高齢者には、定期的に御用聞きサービスや商品の受宅宅配など、焼き魚一品から弁当のクエストまで、できる限り要望にお応えし好評を得ました。単なる御用聞きではなく安否確認や、見守り訪問を行い、住民生活を陰から支える活動も行いました。

買い物支援を通じて、後方支援ながら地域コミュニティの構築と住民の絆作りに貢献し、住民生活を支え、復興支援の一助を担うことができました。

4 その他ひと言

富岡町は、平成29年4月より一部地域を除き本格的な住民帰還が始まりました。そのため平成29年3月末で大玉村仮設店舗「えびすこ市場」は閉店いたしました。今後は富岡町で、飲食店等をオープンし、住民生活支援と町復興のため寄与してまいります。

5 事業実施の様子



御用聞き宅配を行い、商品を自宅まで届け声掛けしている様子



県内産生鮮食品を中心に、仮設住宅の入居者へ移動販売している様子